



# 「逃げ遅れ0」を目指し 平常時からハザードマップを活用



栃木県栃木市旭町三丁目自治会 防災会  
会長 黒宮 淳元

## 1 防災会の概要

昭和50年頃、町内及び近隣で火災が多発したことを受け、町内有志が集い、火災警防組織を立ち上げ「火の用心」の見回り活動を開始しました。昭和53年には前組織を継承し、自主防災組織を立ち上げました。地震等の災害による被害軽減を目的に活動していますが、防災活動の他、きれいな環境を保つことで安全な町内、住民の友好な関係づくりを図るため、毎日、公園の清掃や整備、小鳥の飼育や花壇作りも行っています。

## 2 背景

近年、住民の高齢化が進み、一人暮らしの高齢者も多く、空き家も増え、不審火等に不安があることから、パトロール活動に加え、高齢者等要支援者への見回り活動や災害時の避難活動支援を行っています。平成27年関東・東北豪雨では町内の川が氾濫、池の溢水等の被害があり、自らの地域を守ることの大切さを痛感し、活動の幅を広げながら40年間にわたり活動を行っています。

## 3 取組の内容

火災警防月間（毎年2月初旬～3月初旬）の1か月間、毎日夜8時から1時間、拍子木と誘導灯を持ち、町内を20名で巡

回しています。休日の前日には小学生も参加して楽しく回り、危険箇所の確認等もすることで、自分たちで地域を守る大切さを教えています。この活動は40年間続いており、1回も休んでいません。



小学生と行う夜間の巡回活動

10年前からは、毎月3日、13日、23日に最寄りの交番と協力して不審者や不審火の警戒のため、「3の日パトロール」を実施しています。パトロールと同時に、



3の日パトロールのポスティング

防犯啓発のチラシ、交通便り及び自治会広報などのポスティングを行い、町内外の安全安心に努めています。

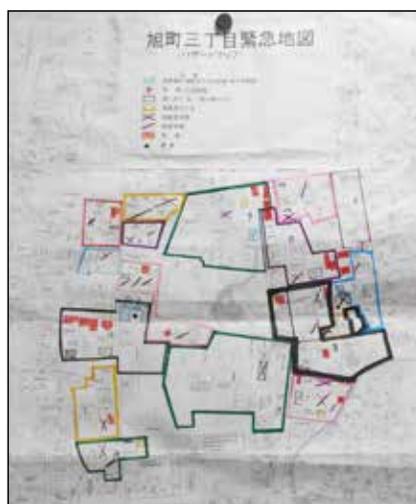
公園を抱える自治会としては、以前から子供の火遊び及び犯罪が問題となっていました。過去には、子供の火遊びにより公園内の太い木が放火されたり、いたる所でたき火が行われたりして、近所の方々も困っていました。そこで私達は、公園内の環境整備を行い、「公園の花いっぱい運動」を実施しようと自治会役員で決めました。町内全員が活動を実施し、各方面の方々の参加を得て、見事な花壇が出来上がりました。小鳥小屋にも小鳥をたくさん放鳥し、現在では公園に来る人達皆が「きれいな公園ですね」と感激しています。



毎日清掃している公園の花壇と鳥小屋

ハザードマップは毎年見直しを行っています。民生委員、町内の女性部が中心となり、にぎやかな雰囲気の中、地域の重要情報を共有しています。例えば、各班に寝たきりの人や、障害者、独居世帯、高齢者世帯、空き家等を記載し、平常時から皆で作ったハザードマップを活用し、

パトロール中に点検確認を実施しています。平常時には定期的な声かけを行い、災害時には要配慮者への積極的な支援を行うことで「逃げ遅れ0（ゼロ）」を目標に日々活動しています。



毎年作成しているハザードマップ

#### 4 活動の成果

東日本大震災時には、役員や隊員により一人暮らし高齢者の安否確認を行い全員の無事を確認できました。平成27年関東・東北豪雨時にも同様に、各家庭を訪問し数名を自主的に開設した地元公民館に避難させ、その支援を行いました。これらは特に高齢者世帯の不安解消に繋がっており、町内が安全安心であると感謝の言葉をかけられました。

長年の声かけ等の活動により、顔が見える地域付き合いが形成され、災害時にもスムーズな避難・支援を行うことができております。